



タカショーデッキ積算システム自動更新ツール

ご利用方法について

● タカショーデッキ積算システム自動更新ツールでできること

タカショーデッキ積算システム自動更新ツールは、お使いの RIKCAD21・expot にインストールされている『タカショーデッキ積算システム』の最新データをはじめ、機能の改善をおこなったデータをインターネットを利用して自動で更新することができます。

● 自動更新ツール動作環境について

タカショーデッキ積算システム自動更新ツールをご利用いただくには以下の動作環境が必要です。

- ①お使いのパソコンに RIKCAD21 Ver.3,Ver.4,Ver.5,expot のいずれかがインストールされている事。
- ②お使いのパソコンがインターネットに接続されていること。(ADSL 以上の回線速度を推奨。)
- ③自動更新システムは Windows2000,XP,Vista,7 に対応しています。更新システムの起動には、以下の 2 種類のプログラムが必要になります。更新システムが起動しない場合のみ以下のアドレスからダウンロードを行います。

Microsoft .NET Framework Version 1.1 再頒布可能パッケージ

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=262d25e3-f589-4842-8157-034d1e7cf3a3&DisplayLang=ja>

Microsoft .NET Framework Version 1.1 日本語 Language Pack

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=04DBAF2E-61ED-43F4-8D2A-CCB2BAB7B8EB&displaylang=ja>

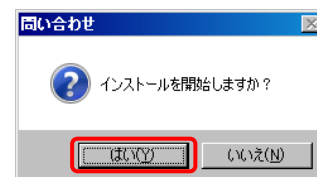
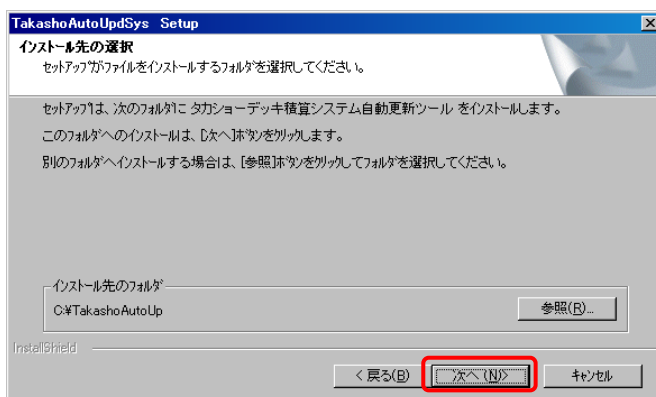
● 自動更新ツールのインストール

タカショーデッキ積算システム自動更新ツールのインストールを行います。

- ①タカショーHP よりダウンロードしてきたファイルを解凍します。
作成された実行ファイル(TakashoAutoUp_Install.exe)をダブルクリックします。



- ②画面の指示に従ってインストールを実行します。自動更新ツール本体は初期設定では C ドライブの「TakashoAutoUp」フォルダ内にインストールされます。(RIKCAD21,expot と同じドライブにインストールする必要はありません。)



- ③インストール完了後、デスクトップ上にショートカットアイコンが作成され、インストールは完了です。



●自動更新ツールの環境設定と実行

タカショーデッキ積算システム自動更新ツールを起動し、更新に必要な環境設定を行います。

① タカショーデッキ積算システム自動更新ツールを利用するには、RIKCAD21（または expot）を終了します。

② インストールの完了後、デスクトップに作成されたショートカット



から自動更新ツールを起動します。

※エラーが表示され、起動できない場合は1ページの「自動更新システムの動作環境について」に記載されたアドレスから起動に必要なプログラムのインストールを行ってください。

③ 初回起動時、お客様のお使いのCADのバージョンが未設定のため、更新処理はできません。

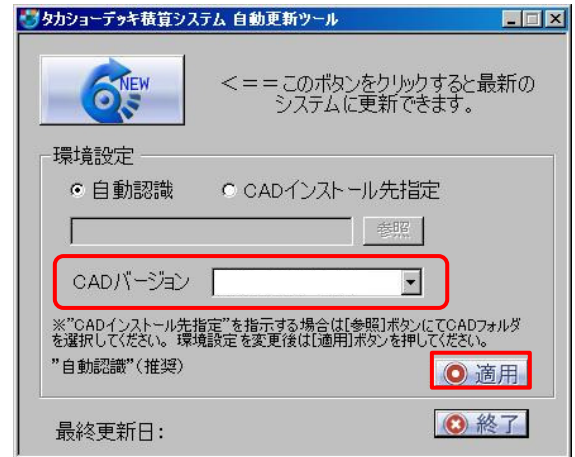
まず、「環境設定」欄の「CADバージョン」を選択して、[適用]ボタンをクリックします。

※「CADインストール先」の設定について

通常「自動認識」で問題ありませんが自動更新がうまくできない場合、「CADインストール先指定」を選択して、[参照]ボタンよりRIKCADフォルダを選択してください。

※環境設定は、初回実行時のみ必要になります。

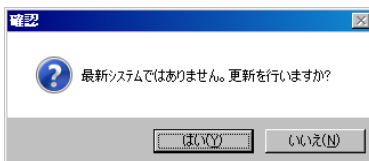
次回起動時はこの設定が継続されますので④の手順から始めます。



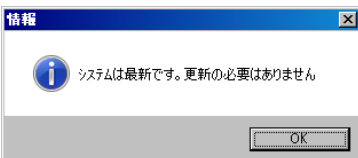
④ 環境設定完了後、[NEW]ボタンをクリックします。

※[NEW]ボタンをクリックすると、下図のように【更新の必要あり】【更新の必要なし】【デッキ積算システムがインストールされていない】の3つのパターンでメッセージが表示されます。

【更新の必要あり】⇒ [はい]をクリックすると更新処理が実行されます。



【更新の必要なし】⇒ システムは最新状態です。[OK]をクリックして[終了]ボタンで終了します。



【デッキ積算システムがインストールされていない】⇒ デッキ積算システムがインストールされていません。

